



# カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成31年3月号

## 感動の卒業式で平成30年度を締めくくる

平成30年度の卒業式が各校にて3月16日（土）に厳粛な雰囲気の中で執り行われ、卒業生が夢と希望を抱き巣立っていきました。何時の卒業式も、送辞、答辞そして在校生と卒業生での校歌斉唱は感動を呼びます。それは、残るものと去る者との感情が同調し感動的な雰囲気を醸し出すからだと思います。本号では中高部での送辞、答辞の一部を紹介します。



### 中学部送辞抜粋

…皆さんは今日どんなことを思い出しますか。球技大会、文化祭、フードセール色々イベントがありました。でもイベント以外に毎週土曜日に友達と一緒に弁当を食べたり、話したりそんな思い出もたくさんあるのではないのでしょうか。…「もう補習校には行きたくない」と考えたことはあったのでしょうか。そんな時、私は「自分だけではない。」と言い聞かせています。先輩方も補習校へ通うこと以外にやりたかったことがたくさんあったと思います。毎週土曜日朝早く起きて補習校へ

【サンフランシスコ小学部卒業式】 通うことは本当に大変だったでしょう。私も来年先輩方のように胸を張って卒業できたらいいなと思っています。…

### 高等部答辞抜粋

…今では、高2は全員兄弟姉妹のような関係に近いと思います。これは僕たちが「日本語と英語の特別な環境で生きている」という仲間であり、同じアイデンティティーを分かち合える唯一の仲間であるからです。その環境をつくってくれたのが補習校であると思います。「アメリカ人でもなく、日本人でもない、僕は僕、私は私」これから大人になっていく時、僕たちはこのアイデンティティーを誇りに思い胸を張って生きていきます。高2の仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。…

卒業生の皆さんが、大いに悩み苦しみながらも卒業まで漕ぎつけた喜びと感動がにじみ出ている内容ではないでしょうか。これからは本校を卒業したという誇りと自信を胸に、力強く夢の実現に突き進んでいくことを願うばかりです。